

平成25年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業成果表

(海外事業 1団体)

番号	団体名	活動の概要(①活動名,②時期・内容,③参加状況,④成果)	所在市町村
1	福岡青少年音楽の翼 オーケストラ	<p>①第5回国際交流オーストリアウイーン公演 ②平成26年3月22日(土)~30日(日) ・オーストリア・ウイーンのヨハン・セバスティアン・バッハ音楽学校の同世代の青少年と合同で演奏の練習を重ね合同発表演奏会を開催。また、ウイーンの家でのホームステイなど交流活動を行うことにより、お互いの国や文化への理解を深め、国際理解や友好親善を図られた。</p> <p>③県内公募の小学5年生以上大学生までの26名(他に指導者1名、スタッフ2名)。 ④これまでの国際交流の集大成として音楽交流事業を企画されたもの。 支援の会の助成をいただいたお陰で、日本とオーストリアの音楽を学ぶ青少年の合同演奏会が実現した。今回の渡欧で、子どもたちは自信を付け「勉強を頑張る、語学をがんばる」(子どもたち)、「急に積極的になってビックリしている」(親の言葉)という発言も聞かれ、確かな子どもたちの成長を観て皆喜んでいとのこと。 また、合同演奏会の反響は著しく、音楽の本場ウイーンの名客のアンコールが止まなかった。感動的なものであったとこのこと、これからも支援の会には子どもたちの夢を羽ばたかせる手助けになっていただきたい、とても感謝しているとのことであった。</p>	福岡市 中央区

(国内事業16団体)

番号	団体名	活動の概要(①活動名,②時期・内容,③参加状況,④成果)	所在市町村
1	福岡県立早良高等学校	<p>①早良高等学校「派遣隊」 ②平成24年5月~12月 13回実施 ・小学生対象の体験プログラム『日本のお茶の発祥の地』脇山茶摘み、手揉み茶づくり、主基祭田植え祭り、八乙女の舞・稲刈り・収穫祭などに参加して子ども達を支援。また、オイスカの子どもの森親善大使や農業体験キャンプなどに参加し、海外研修生等と交流活動を行った。</p> <p>③4年生以上の小学生、早良高等学校の生徒 延べ185名 ④地域の歴史を踏まえた小学生対象の体験プログラムの運営・支援を、地域の多様な団体や大人達と行うことで生徒自身の自尊感情を醸成し、さらに職業観の育成や地域貢献の大切さを学ばせることができた、支援に感謝しますとのことであった。</p>	福岡市 早良区
2	銀座・住吉町内 お囃子保存会	<p>①大牟田大蛇山のお囃子と雅楽の学習会 ②平成25年6月~10月 (7月28日祇園祭) ・大牟田地区に古くから受け継がれている大蛇山に参加するため、太鼓、鐘、横笛などお囃子の楽器の練習を行い、7月末の子ども太鼓競演会に参加。さらに龍笛、箏、笙など雅楽の楽器の学習と練習を行い10月の雅楽演奏会に出演した。</p> <p>③小学生、中学生 21名 ④大蛇山のお囃子や日本古来の雅楽の意義やすばらしさを理解し、演奏の実技を通して継承させていくことを目的とした活動であるが、子どもたちは最後までやり遂げ、技術の伝承ができるとともに、自信を持った態度に変わってきた。 今回、支援をいただき外部の専門家を招くことができ、充実した活動ができたとのこと。</p>	大牟田市
3	社団法人 豊前青年会議所	<p>①豊築中学校競技大会 ②平成25年6月1日(土)、2日(日) ・豊前市、築上郡の8校の全中学校の野球、バスケットボール、ソフトボール、サッカー、バレーボールの5競技の大会を開催。これに美術部、写真部、ブラスバンド部、放送部などの文化系クラブも参加し、役割を担い、より一体的な豊築地区の青少年育成事業が実現できた。</p> <p>③中学生 500名 (他に教員100名、青年会議所23名) ④豊前市、築上郡の三町の中学生たちが、日頃のクラブ活動の技術や成果を発揮する場を提供。体育系、文科系の垣根を超えたチームワークやマナーの向上といった精神面の成長を含めた青少年の健全育成を図った。 また、支援の会の助成を頂いたことで、今回から文科系クラブの参加が実現し、保護者等の理解も深まって、地域一体となった青少年育成を発信できた。非常に感謝しているとのこと。</p>	豊前市

番号	団体名	活動の概要(①活動名,②時期・内容,③参加状況,④成果)	所在市町村
4	のぞみいきいき アンビシャス広場	<p>①のぞみっこ「甑島」の大自然体験</p> <p>②平成25年8月17日(土)～20日(火)</p> <p>・鹿児島県「甑島」の大自然の中でのキャンプ生活を体験。食材の調達から調理、後片付けまでを自分達で行う食事作り、地元の漁師さんから魚介類の捕獲や調理などを学ぶ交流、シーカヤックを使った狩猟体験、地元の小学生との意見交換などの交流を行った。</p> <p>③小学5、6生 24名、(他に大学生指導者とスタッフが13名)</p> <p>④学校キャンプなど日頃の守られた環境のなかでの体験行事が多い子どもたちが、本物の大自然のなかで非日常体験をすることで、自分と自然との関係を知ったり、みんなで行ったキャンプ生活などで、視野を上げたり、協調性・自主性を見出し、自身で生きていく力に目覚める手助けとなったとのこと。支援の会の助成を頂いたことで、甑島での貴重な活動が実現し大変感謝しているとのこと。</p>	小郡市
5	公益財団法人オイスカ 西日本研修センター	<p>①朝倉グリーンウエーブ植林</p> <p>②平成25年4月20日、25年5月25日</p> <p>・朝倉市の「江川水源の森」にヤマザクラなどの植樹を行うとともに、5月25日のグリーンウエーブの日には国連からの代表を招きを一緒に記念植樹をしたり、環境フォーラムを行った。</p> <p>③植林:90名(小中高生58名)、フォーラム:朝倉高校を中心とした市民850名</p> <p>④環境悪化の進行した「江川ダム水源の森」で植樹を行い、緑を取り戻し地元の緑化に貢献すること、また、地元朝倉高校を中心とした地元の子もたちが「グリーンウェイブ2013いんあさくら～子ども環境フォーラム～」を主催し、『子ども環境宣言』を発表するなど、子どもたちにとって貴重な体験となった。今回の催しは、緑の大切さや青少年の国際交流意識を深める機会となった。</p> <p>なお、この活動は、アンビシャス通信で取材したほか、西日本新聞でも取り上げられた。</p>	福岡市 早良区
6	音楽物語グループ SEGUE	<p>①SEGUE音楽物語(手作りコンサート)『くるみ割り人形』と『パンをふんだむすめ』(親子参加型コンサート)</p> <p>②平成25年12月7日(土)</p> <p>・人形劇『くるみ割り人形』と語りと生演奏、二胡演奏と中国舞踊、影絵『パンをふんだむすめ』と語りと生演奏の3部構成の音楽物語の公演を3回行い、公演の後には出演者と子ども達との交流を行った。</p> <p>③幼児～、主として子育て中の親子:子ども約300名、親約150名</p> <p>④上記のような人形劇や語り、演奏などに親子で触れ、芸術に興味持つきっかけを与えることで、豊かな感性を育み、子どもたちの心の成長と親子の交流を深めることができた。助成していただいたお陰で、例年にない充実した時間が持て感謝しているとのこと。</p>	福岡市 西区
7	Twinkle・Cats トゥインクル・キャッツ	<p>①10回目記念公演 心のバリアフリー「愛いっぱいコンサート」</p> <p>②平成25年8月25日(日)</p> <p>・小学生から大人までの障害を持った人たちが、ゲストと一緒に、音楽劇と器楽演奏の二部構成の発表公演を行った。</p> <p>③小学生以上の子ども:17名、その他ゲストや裏方さんまで含め総勢130名の出演者</p> <p>④障害を持った子どもたちが、音楽劇や器楽の演奏に初歩から取り組み、その成果をコンサートで発表して観客の拍手を受けることで、自信を持ち、成長し、より充実した生活をおくって行けるよう変わってきたとのこと。</p> <p>今回は第10回記念公演であったが、支援の会の助成により、イヅカコスモスコモン大ホールにおいて、800名を超えるお客様の前で今までにない大きな公演ができた、大変感謝しているとのこと。</p> <p>なお、この公演は毎日新聞等でも取り上げられ、「これほど障害者理解につながる場所はない」と地元でも大きな反響を呼んでいる。</p>	嘉麻市
8	NPO法人 ふくおか森の学校	<p>①しんぐう里山ようちえん～土曜教室～</p> <p>②平成25年6月～平成26年3月 9回実施</p> <p>・新宮町の民家をベースに、自然の中で、畑仕事、田植え、収穫などの農作業体験、川遊び、山登り、竹細工や門松づくり、もちつき、雪遊びなど様々な体験を行う。</p> <p>③3歳以上～6歳までの未就学児 延べ71名</p> <p>④幼児期に、貴重な自然の中で自然の美しさ、不思議さ、心地よさ、厳しさを体験させることで、かけがえのない自然を守っていくことの大切さ植えつけることで、心豊かでたくましく育っていく子どもたちを観ることができた。</p> <p>ただ、予想より子どもの参加が少なく、今後、告知面など助成金の効果的な活かし方などを工夫して行きたいとのこと。</p> <p>なお、この活動は、アンビシャス通信で取材掲載した。</p>	糟屋郡 篠栗町

番号	団体名	活動の概要(①活動名,②時期・内容,③参加状況,④成果)	所在市町村
9	大野城市 スポーツ少年団	<p>①大野城市の子ども達による一大絵巻物の作成</p> <p>②平成25年4月～9月 (9月28日・29日すこやか交流プラザに掲揚)</p> <p>・各小学校、スポーツ少年団、子ども会などが、6月からテーマにそって60枚のパネル画を描き、合わせて一つの絵巻物「ふるさと大野城」(横15m縦5、5m)を完成させた。これを、すこやか交流プラザに掲揚して市民に発表した。</p> <p>③小学生～中学生 1,835名(指導者20名、補助者130名程を含む)</p> <p>④大野城市の子ども達が協力して一つの絵を完成させることで、参加者しかあじわえない達成感を共有することが出来た。また、大野城地域の多くの子どもたちが協力して1つのことを成し遂げることで、子どもたちの間の交流や自主性を育むことができた。支援の会から助成を頂いたお陰で、素晴らしい大絵巻ができた。大変感謝している。これからも、子どもたちが活動し易い環境を整えるために支援をお願いしたいとのこと。なお、この活動は、大野城市の広報誌等で取り上げられた。</p>	大野城市
10	ドリームチルドレン	<p>①たいけん!はっけん!わくわくキャンプ!!2013</p> <p>②平成24年7月27日(土)、28日(日)</p> <p>・子供達が1泊2日のキャンプで、学校、年齢が異なる子どもたちがグループを編成し、生活で必要になってくる道具の使い方を身につけたり、料理作りや川辺の生物調査様々な体験を行った。</p> <p>③小学3～6年生 30名(他に指導者 19名)</p> <p>④子どもたちが中心となって、各グループの中で役割を果たすことで主体性や積極性を育み、様々な体験を通して達成の喜びをを実感したり、協力することの大切さに気づかせることができた。また、付近でキャンプをしていた「解放太鼓」の子どもたちと太鼓を教わったり、演奏したり、飛び入りの貴重な交流ができた。支援の会の助成を頂き、日頃できない経験をたくさんできた。これからも、子どもたちの成長を少しづつでもできたらなと思っている。今後ともよろしくお願ひしますとのこと。</p>	北九州市 八幡西区
11	宮地嶽相撲クラブ	<p>①大相撲九州場所前夜祭の参加に向けた取り組みと土俵入り披露</p> <p>②平成25年4月～25年11月</p> <p>・相撲と地域の歴史について、パンフレットを作成、子どもたちの相撲研修を行った。県内外の多くの相撲クラブの子どもたちとの相撲交流や子ども横綱の綱の作成、奉納土俵入りを実施した。</p> <p>また、今年は大相撲九州場所の前夜祭へ参加した。</p> <p>③幼児～中学生 延べ約230名</p> <p>④多くの相撲交流を行うことで、子どもたちが相撲を通してたくましく育ち、日頃の自分たちの活動の中で礼儀や自信・誇りを身に付け、積極性やコミュニケーションの力を発揮できるようになった。</p> <p>また、支援の会の助成により県外との交流などが実現し、活動の拡大・充実につながっているとのことであった。</p> <p>なお、この活動の練習状況が、4月にNHK福岡放送の“ふっくTV”で紹介された。</p>	宗像市
12	社団法人ガールスカウト 福岡県連盟	<p>①群星プロジェクト(むるぶしプロジェクト)《50周年記念事業》</p> <p>②平成25年4月～26年2月</p> <p>・50周年を祈念して、年長スカウト(中学生、高校生)が中心となった実行委員会を組織し、「一緒になら この世界をかえられる」をテーマに様々な活動を企画し、平成26年2月11日(月)に1年間の活動状況を発表した。</p> <p>③少女会員:200名、成人会員:180名、一般:50名</p> <p>④少女や若い女性が、能力やリーダーシップを伸ばす機会をより多く提供することができ、少女たちが少しづつですが力を身につけることできたと思っているとのこと。</p> <p>今後も、地域の方々や学生に広く発信していく、チャンスを頂き感謝しているとのこと。なお、この活動は、西日本新聞社と久留米のくーみんテレビの取材を受けた。</p>	福岡市 博多区
13	アンビネット 小郡市地域連携協議会	<p>①Let' GO アンビフェスタ</p> <p>②平成26年1月26日(日)</p> <p>・小郡市のアンビシャス運動参加団体等で組織された競技会であり、一年の集大成として活動の紹介や発表などを通して参加団体間の連携交流を深めた。</p> <p>また、活動を拡げていくなかで、体験ブース(アドバルーン、葉づくり、楽器指導など)を設けたり、園児たちの絵画の展示、子どもたちや高齢者による演奏や劇の発表などを行うフェスティバルを開催した。</p> <p>③3歳～中学生 300名(来場者:約1200名)</p> <p>④子どもたちの新たな出会い、新たな体験活動の場とすること、子ども立ちが直接企画運営に関わることで社会性や協調性を身に付け、やり遂げることの大切さに気づかせることができた。お陰で、充実した協議会の運営並びにフェスタを開催することができた、感謝しているとのこと。</p>	小郡市

番号	団体名	活動の概要(①活動名,②時期・内容,③参加状況,④成果)	所在市町村
14	大野城市 レクリエーション協会	<p>①やればできる!! 交流体験2013</p> <p>②平成25年4月～11月 (7回実施)</p> <p>・当協会の「あそびの城」活動のなかで、知識と経験を持っている地域のシニアの力を借りて、7回にわたり、子どもたちがマジック体験、お手玉遊び、ブーメラン作り、農作業体験(苗植え・芋掘り)などの体験活動を行った。</p> <p>③幼児(4歳以上)～小学生 延べ236名</p> <p>④子ども同士の触れあう機会が少なくなっている子どもたちが、体を使った遊びや農作業などの様々な体験を通して、仲間といかに遊ぶか、目上の人とどう接するかなどを考えさせることにより、子どもたちの豊かな情操を育むことができた。</p> <p>また、昨年参加した子どもたちが、今年はどう遊ぶか、いかに工作するかと自分で考えるようになっていたことで成果が見てとれ、この活動の意義を確認できたとのこと。</p>	大野城市
15	日本ボーイスカウト 福岡県連盟	<p>①第16回日本ジャンボリーに参加するアジア太平洋地域のスカウトと福岡県のスカウト、一般少年との国際交流活動</p> <p>②平成25年7月23日(火)～8月12日(月)</p> <p>・アジア太平洋地域のスカウトが日本ジャンボリーに参加する機会に、福岡県のスカウトや一般少年が海外の少年と交流する諸活動(太宰府や鴻臚館などを訪問して行う歴史と文化を知る交流活動、伝統武道を知り体験する体験交流活動などをを通して、お互いに何を感じたか?、自分達に今できることは何か?をテーマにしたワークショップなど)を行った。</p> <p>③中学2年生～高校生 福岡県の少年180名(内一般少年90名)、アジア各国の少年180名</p> <p>④参加した青少年の反応は、「自分の英語が通じた」、「相手の文化を知ることができた」、「日本の素晴らしさをしることができた」、「外国の友達ができただ」など、コミュニケーションの難しさを克服しながら、それに取り組む勇気を育み、達成感を得たことが観てとれた。今後、国際的な視野を持って成長することを期待するとのことであった。</p>	福岡市 博多区
16	紫川フェスティバル 実行委員会	<p>①紫川フェスティバル2013</p> <p>②平成25年8月25日(日)</p> <p>・昔は汚染された川であった紫川を北九州市の環境改善の象徴として位置づけ、生まれ変わった紫川で青少年をはじめとする市民参加型のアスクロン大会などを実施し、北九州市の環境の美しさを内外に発信するイベントを開催。</p> <p>③当日は雨天であったが、来場者約1500名、競技(スイム中止、ランのみ実施)参加者は265名、うち青少年の参加は60名にのぼった。</p> <p>④支援の会等の助成を受けられたお陰で、期待した以上の充実した催し(市の環境ブース、自転車利用振興会ブースなどの環境啓発イベントや多くの軽スポーツ等)となった。大変感謝しているとのこと。</p> <p>参加した子どもたちも、スポーツに参加しながら、楽しく北九州市の環境への取り組みを直接学ぶことができ、身体と心成長を促す催しとなった。</p>	北九州市 小倉北区

合計	17団体	
----	------	--